

東日本大震災原子力災害と福島復興 ～旧避難指示区域の地域経済の今～

日本地域経済学会会員

山川 充夫

福島大学名誉教授

1. 東日本大震災原子力災害と日本地域経済学会 The Japan Association for Regional Economic Studies

- ・目的: 地域経済学に関して, 研究者の交流・提携を図り, 科学的な理論, 分析, 政策, 及び歴史の分野における研究の発展を目的とし, 地域経済の民主的発展に寄与する。
- ・設立: 1989年
- ・会員数: 260名(2025年現在)
- ・大会: 年1回(直近は第37回沖縄大会)
- ・支部: 北海道、関東、西日本(年2～3回開催)
- ・機関誌: 『地域経済学研究』第48号(2025年4月)

災害問題研究会
の立上げ
2011年

■日本地域経済学会と主な災害研究

- ・『地域経済学研究』第23号(2012年1月)
 - ・ミニ特集: 東日本大震災と地域経済(関東支部研究会)
 - ・「東日本大震災と地域経済」の記録(山本篤民)
 - ・東日本大震災と日本経済・地域経済(中村剛治郎)
 - ・東日本大震災の災害像と復興の諸課題(宮入興一)
 - ・漁村に関連する復興構想とその議論(濱田武士)
- ・『地域経済学研究』第24号(2012年7月)
 - ・【第23回大会特集】[共通論題報告]東日本大震災と地域経済
 - ・震災復興産業政策への地域政治経済学的アプローチ試論-(中村剛治郎)
 - ・水産復興と食糧基地構想-なりわいの再生か?
それともなりわいからの脱却か?- (濱田武士)
 - ・東日本大震災被災地のものづくり復興の課題
-福島県南相馬市原町区を中心に-(初澤敏生)
 - ・脱原発と地域経済の展望(山川充夫)
 - ・[共通論題討論]東日本大震災と日本経済・地域経済
 - ・鈴木誠・中村剛治郎・濱田武士・初澤敏生・山川充夫・岡田知弘・柴田但馬

記録・災害像・
復興構想と
地域経済学

ものづくり・
なりわいと
地域経済学

復旧復興・
自治のあり方
と
地域経済学

- 『地域経済学研究』第25号(2012年12月)
 - 【企画特集:『復興』の地域経済学】
 - 災害と復興の経済学の提起に向けて(宮入興一)
 - 福島県における原子力災害の影響と農村・農業の再生(小山良太)
 - 大震災復旧・復興における岩手県沿岸の
自治体行政に関する問題と課題(栗田但馬)
- 『地域経済学研究』第35号(2018年9月)
 - 【共通論題報告】
 - 国土強靱化政策と地方自治—地方財政の視点から—(森裕之)
 - 東日本大震災復興における大型公共事業の教訓
—防潮堤整備事業を中心に—(栗田但馬)
 - 人口減少時代、市街地と公共施設のあり方
—都市計画学の視点から考える—(中山 徹)
 - 【共通論題討論】国土強靱化/公共事業と地域経済社会
 - 岩佐和幸・森裕之・栗田但馬・中山徹

- 『地域経済学研究』第36号(2019年3月)
 - 【企画特集 災害問題特集】
 - 人間復興の地域経済学の最前線—特集にあたって—(岩佐和幸)
 - 人間復興の地域経済学の現段階と政策的課題(宮入興一)
 - 福島県南相馬市原町地域における東日本大震災後の建設業(初澤敏生)
 - 災害時における地域連携BCPの構想と課題(鈴木誠)
 - 原発災害復興ジレンマと日本学術会議提言(山川充夫)
- 『地域経済学研究』第48号(2025年4月)
 - 【企画特集】
 - 「災害の地域経済学」における地域のレジリエンス(池島祥文)
 - 災害におけるレジリエンスと「生と死の災害論」—学際的地域研究からの試論—(栗田但馬)
 - 災害レジリエンスと建設業(千葉昭彦)
 - 原発避難指示解除と地元企業再興 —南相馬市小高区82社の場合—(山川充夫)
 - 産業復興における地域のレジリエンス(池島祥文・初澤敏生)

人間復興・
レジリエンス
と
地域経済学

2. 福島原子力災害は何をもたらしているか

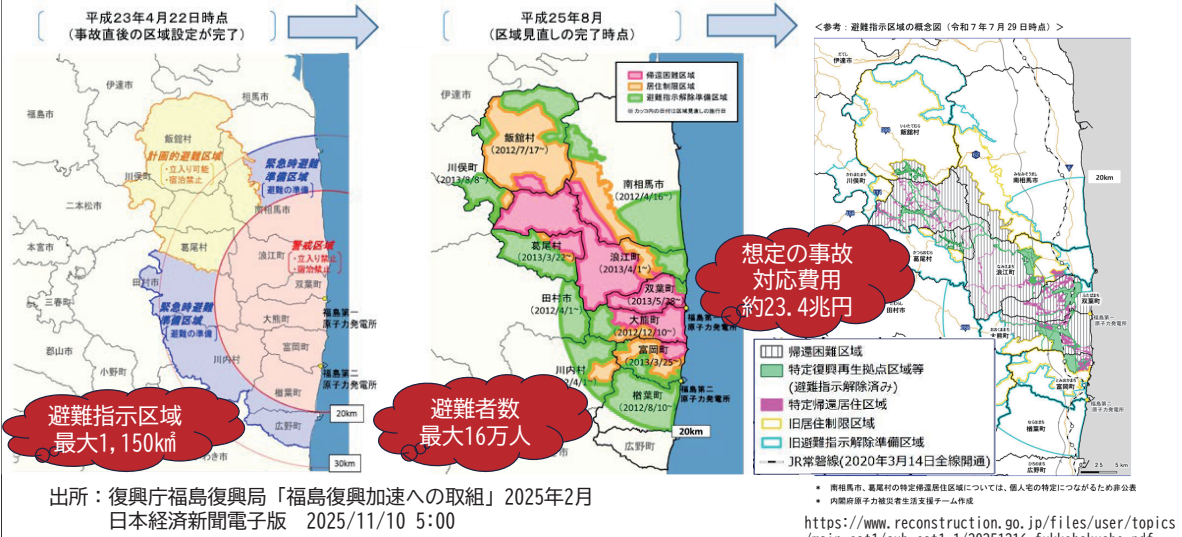


東京電力福島第
一原発
(2022年9月7日視察)

ALPS
処理水

約3年半前の東京電力福島第
一原発 (2022年9月7日)

■原発事故避難指示区域の変遷



■帰還困難区域(双葉町)



■帰還困難区域 (浪江町津島地区、2024年4月23日)



■除染土中間貯蔵施設(2025年9月21日)

